



水土里情報システムを補助率増高申請に活用した事例を紹介します。

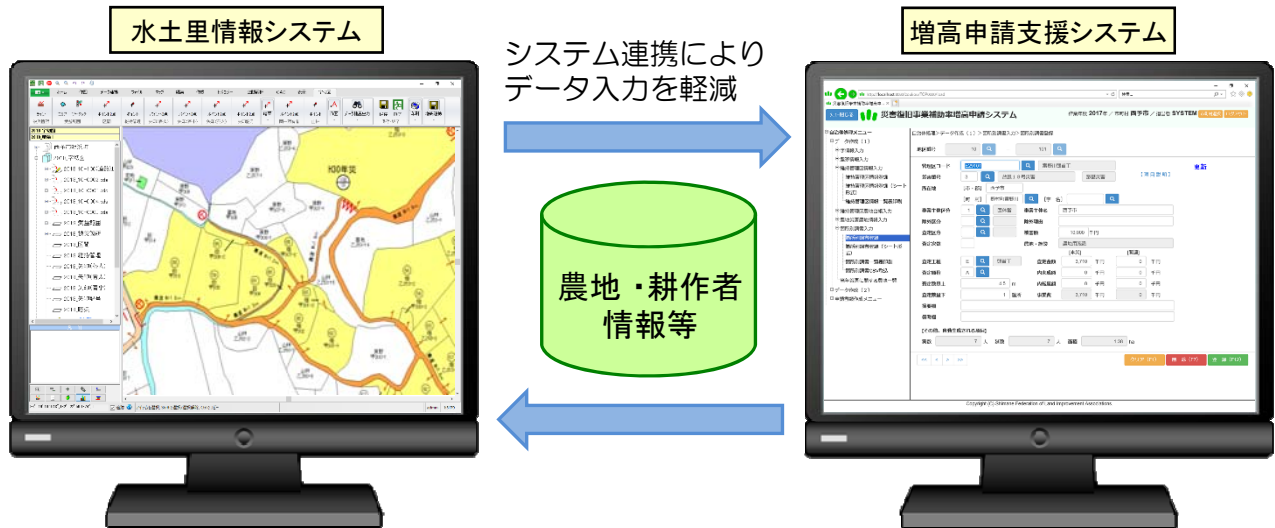
(1/2)

今回紹介する団体：水土里ネット愛媛、西予市

取組概要

内容：水土里ネット愛媛では、平成30年7月豪雨災害において、水土里情報システムと増高申請支援システムを連携させ、水土里情報システムを用いて作成した字切り図の農地・耕作者情報を、増高申請支援システムに自動入力することにより、入力作業の効率化を図った。

- 経緯：①平成30年7月の豪雨災害により、初期調査段階で約1500箇所におよぶ甚大な被害が発生した。
- ②早急な災害復旧のためには、被災状況を速やかに整理し、災害復旧事業費の高率補助を受けられるようにしなければならないが、被災箇所が膨大なため増高申請の効率的な実施が必要であった。
- ③増高申請書の作成には、農地台帳を確認し増高申請支援システムに農地情報を手入力していたため、入力作業に時間を要していたが、水土里情報システムと増高申請支援システムを連携させ、水土里情報システム側で選択した受益農地の農地・耕作者情報が、自動的に増高申請支援システムに入力されるようになり、入力作業の効率化が図られた。



水土里情報システム 字切図メニュー

受益農地の選択や矢印記号(→)の効率的な入力が可能



期待される効果

農地・耕作者情報等の水土里情報システム側で保有している情報が増高申請支援システムに反映されるため、申請業務でのデータ入力が大幅に軽減できる。また、システムの導入により申請業務がマニュアル化され、初心者でも短期間で操作を習得できる。

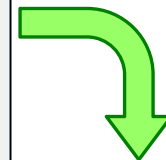
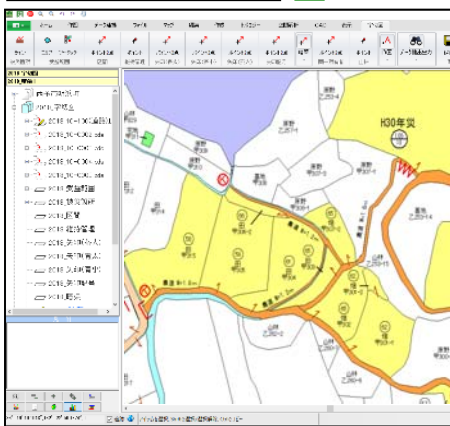
データ連携ツール

①水土里情報システムで受益農地を選択し、字切り図を作成

②水土里情報システムから受益農地の農地・耕作者情報を取り込み

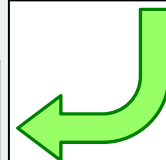
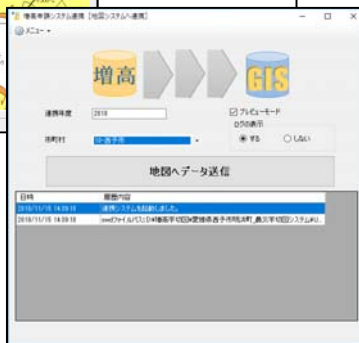
水土里情報システム

増高申請支援システム



④増高申請支援システムから耕作者一連番号を取り込み、字切り図に反映

③増高申請支援システムで事業費等の入力を行い、申請書を作成



今後の活用予定

過年災害の増高申請書は、紙媒体で保管されているため劣化や紛失の恐れがあるが、システムの導入により電子データでの保管が可能となる。今後は、過年災害の情報を蓄積することにより、字切り図の再活用など申請業務の迅速な対応が図られる。

GISシステムのバージョン情報

GISエンジン: SIS7.1SR3 GISアプリ: 水土里Maps7.1 Ver1.5

増高申請支援システム(株式会社エイビス)

■お問い合わせ先

愛媛県土地改良事業団体連合会 水土里情報センター

089-927-7611(直通)

農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室(愛宕、沖)

03-6744-2201(直通)